

# 循環器内科

## 安村良男

循環器疾患は高齢化社会を反映して、1)動脈硬化を基礎としている、2)疾患が複合している、2)増加傾向にある、などの特徴がある。治療においては病態の解析が進歩し、症状の改善をめざすだけでなく、予後の改善をめざすことが基本となってきている。個々の仮説は大規模臨床試験で実証され、この試験結果に基づいたガイドラインが作成されている。我々、循環器医には直面している診療にガイドラインが適応されるか否か、その判断が問われると伴に個々の症例の特殊性に対応する柔軟性が要求されている。

虚血性心疾患：過去および将来的にも、この治療は循環器科の基本であり、当センター循環器科においても入院の約半数は虚血性心疾患またはその疑いである。虚血性心疾患の治療においては、最適の治療法を選択する医療レベルと冠動脈形成術の一流のスキルが要求される。この要求に沿う医療を提供する。また、虚血性心疾患の二次予防を重視する。特に、高血圧、糖尿病、高脂血症やメタボリック・シンドロームの治療に重点をおいている。

心不全：心不全は急性期治療と慢性期治療からなるが、いずれも幅広い知識と経験を要する。特に高齢者心不全に対する対応が重要である。急性期治療においては予後改善をめざした治療法の確立に取り組んでいる。

重症心不全：拡張型心筋症は難病（特定疾患）の一つであるが、循環器科では、本疾患を含む重症心不全治療を重点課題の一つとしている。

不整脈診療：頻脈性不整脈に対する基本的なカテーテルアブレーション治療を提供する。また、高齢者心房細動に対して積極的にワーファリンを導入し、心原性脳梗塞の予防を行っている。

心原性脳塞栓の予防：高齢者の一次予防で重要なものに心原性脳塞栓がある。心原性脳塞栓のうち約半数は非弁膜性心房細動(NVAF)が原因であり、70才以上の高齢者でNVAFが飛躍的に増加することから、この疾患群における脳梗塞の予防は極めて重要である。1998年4月より塞栓予防を目的とした「心房細動外来」を開設し、ハイリスク患者に予防的にワーファリンを使用することにより一次、二次予防に努めてきた。この分野において当院は全国でもオピニオンリーダー的存在であり、今後ワーファリンにかわる新しい抗凝固薬の開発治験にも大きな役割を果たしている。

### 【2010年度研究発表業績】

A-2

安村良男：ビリルビン値の上昇を伴った急性心不全の28歳男性。迷路にはまらない臨床検査値の読み方考え方。日本医事新報社 編 2010.02.10

佐々木典子、安村良男：β遮断薬。循環器治療薬ハンドブック。北風政史 編集 中外医学社 2010.03.10

安村良男：慢性心不全の治療方針。循環器研修ノート。永井良三 監修 診断と治療社 2010.03.25

安村良男：心不全とは何か。循環器臨床サピア8。北風政史 責任編集 中山書店 2010.06.04

安村良男: 急性心不全の病態生理。循環器病学 基礎と臨床。川名正敏ら編集 西村書店 2010 7.01

安村良男: 慢性心不全治療薬の知識。ICD・CRT・CRT-D ハンドブック。藤井謙司 編集 中外医学社 2010.09.25

佐々木典子、安村良男: 急性心不全ガイドライン。患者抄録で極める循環器シリーズ 心不全。筒井裕之編 羊土社 2010 10.1

#### A-4

安村良男: 併用療法をどのように考えるか 心不全 Q&A 佐藤直樹編集。救急集中治療 2010;22:153-156 2010.01.20

安村良男: 拡張性心不全の病態と治療を考える。Pharma Medica 2010;28:83-87

安村良男: 研究開発中の心不全治療薬。心不全の治療 医学のあゆみ 2010;232:513-515 2010.01.30

佐々木典子、安村良男: 拡張性心不全治療におけるピモベンダンの意義。循環器診療 2010;12:38-42

安村良男: 循環器疾患における交感神経系に対する治療 心不全。Heart View 2010;8:73-76 2010. 8.09

安村良男: 慢性心不全。内科疾患の診断基準、病型分類、重症度。内科 南江堂 2010;105:1136-1141 2010.6.01

安村良男: 心不全治療薬（ジギタリス以外）。循環器薬 個別に応じた適切な治療法。診断と治療 2010;98:929-933 2010 06.01

安村良男: 収縮性心不全と拡張性心不全の共通点と相違点 強心薬の位置づけ。Therapeutic Research 2010;31:945-959

安村良男: 病態に応じた循環器薬の使い方とコツ。β遮断薬；心不全における使いかた。Heart View 2010;11:76-79 H22 11.01

#### B-3

N Sasaki, Y Yasumura, Y, Watanabe, Ikeda Y, Ishibashi-Ueda H: Left ventricular reverse remodeling by beta-blocker therapy is accompanied by the improvement of histopathological findings. ESC Heart failure 2010 31/May ヨーロッパ心不全学会 2010

#### **B-4**

Y Yasumura : The degree of lung fluid accumulation is different between preserved and reduced systolic function in patients with acute heart failure. 19<sup>th</sup> CSDS at Fukuoka, 2010 25/September

T Taniguchi : Clinical implication of abdominal fluid content in patients with acute heart failure. 19<sup>th</sup> CSDS at Fukuoka, 2010 25/September

谷口達典 : ドブタミンとハンプの併用により軽快した心室頻拍を伴う虚血性心筋症による急性心不全の一例。第 74 回 日本循環器病学会総会 ファイアサイドセミナー

安村良男 : 収縮不全と拡張不全の共通点と相違点 強心薬の位置づけ ファイアサイドセミナー

安村良男 : 虚血に伴う心不全 長期予後を見据えた治療戦略 プレセッション 座長

安村良男 : 重症心不全に対する薬物治療 第 58 日本心臓病学会学術集会 日本心臓核医学会ジョイントシンポジウム

安村良男 : 新たなる心不全治療をめざして オートセット CS(ASV) 第 14 回に本心不全学会学術集会 ランチョンセミナー 座長

安村良男 : 心不全治療機器としてのオートセット CS の可能性 第 109 回日本循環器学会近畿地方会 ランチョンセミナー 座長

安村良男 : 急性心不全の病態からみた治療薬の選択 日本麻酔科学会第 57 回学術集会、第 13 回アジア・オーストラレーシア麻酔科学会(AACA)共催セミナー

安村良男 : 急性心不全の病態と治療 第 31 回 日本循環制御医学会総会 ランチョンセミナー

谷口達典 : 急性心不全患者における腹部インピーダンス測定による貯留水分量の定量化の試み 第 58 日本心臓病学会学術集会

山戸昌樹 : 急性心不全治療における容量負荷と腎機能との関係 第 58 日本心臓病学会学術集会

佐々木典子 : 慢性心不全患者に対する bisoprolol と carvedilol の左室駆出率改善効果の相違 第 58 日本心臓病学会学術集会

佐々木典子 : 拡張型心筋症に対する  $\beta$  遮断薬治療の効果 : 心筋病理所見からみた検討 第 58 日本心臓病学会学術集会

Yamato Masaki : Serial changes in creatinine reflect the types of acute heart failure. 第 14 回日本心不全

**B-5**

谷口達典：高度低心機能、腎機能低下を有する両側腎臓脈狭窄症に対して staged PTRA が著効した一例。第 109 回日本循環器学会近畿地方会

濱野 剛：たこつぼ型心筋症の発症により閉塞性肥大型心筋症が顕在化した 1 症例。第 110 回近畿内科学会地方会

乾 礼興：レートコントロールにて著明な左室機能改善を認めた頻脈誘発性心筋症の一例。第 110 回日本循環器学会近畿地方会

小出雅雄：特発性心室細動患者の心筋病理所見。第 110 回日本循環器学会近畿地方会

坂口大起：乳癌に対してパクリタキセル投与中に突然の心室細動を発症した一例。第 110 回日本循環器学会近畿地方会

宮崎宏一：血液透析導入後にカルベジロール中止にても顕著な左室収縮能の改善を維持している一症例。第 110 回日本循環器学会近畿地方会